



愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町 9-7
労働会館東館 3 F
T E L 052-871-5433
F A X 052-871-5618
U R L http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽 松 佐 一
第132号 2003年 7 月12日

2004サマーセミナー
■と き 7月31日(土)～8月1日(日)
■ところ 国民年金保養センターのつと
(石川県・千里浜海岸)
今年も新しい出会いが待っている



合同庁舎前で座り込む人々。前列の4人がハンスト参加者

せめて1000円に 681分 引き上げ求めて ハンガーストライキ

愛労連と公務員別でつくる愛知公務員共闘会議は6月22日、最低賃金の引き上げを求める681分のハンガーストライキを朝8時から夜7時21分にわたって名古屋市中区の第2合同庁舎前で行いました。この行動は全労連の提起した全国最賃デーのとりくみに呼応したもので、愛知では最賃引き上げと同時に人事院勧告に向けた統一行動として行われました。

愛知県の最低賃金は時間あたり681円で2年間にわたって据え置かれたままです。愛労連では今年も2月に最低賃金生活体験を多くの組合員の参加で実施しましたが、最低賃金では1ヶ月間フルタイムで働いても12万円弱、これでは生活できないことが体験からも明らかになっています。

ハンガーストライキに参加した建交労学童保育支部の杉浦雅也さん(28歳)は、「今年も最賃生活体験に参加

迷惑な話し

港が閉ざされた テロ対策で一斉に フェンス設置



設置されたフェンスには鉄条網も (名古屋港金城埠頭)

名古屋港、三河港、衣浦港で市民の立ち入りを制限するフェンスやゲートの設置が一斉に行われました。これは9・11同時多発テロを契機にした、港の保安を強化する海上人命安全条約(SOLAS条約)の改正によるもので、7月から海を見るのがぐっと困難になりました。

同条約改正は、港湾がテロの対象や経路地にならないうような保安の強化を義務化。国内の各港は外航船が入る岸壁や背後の荷さばき

地を高いフェンスで囲い、人や物の出入りを厳しく監視・規制するなどの対策を進めてきました。

名古屋港も同港管理組合が、外航船が着岸する公共ふ頭の16のエリアに設置。フェンスは高さ3×2・4メートルで総延長は公共ふ頭の大半の約18kmに及びます。フェンス途中に設けられたゲートには警備員が詰め、中に入るのは港で仕事をする人らに限られ、「釣り人やアベックは締め出される」と港湾関係者は話します。また、コンテナなどを扱う重要性の高いふ頭には、監視カメラや照明設備も設置されます。

アメリカの先制攻撃をも辞さない一方的な力の政策のもとで、新たなコストがかかるだけでなく、市民の憩いの場まで奪われるとはたまりません。

加しましたが、学童保育の賃金はとも安く、普段から最賃生活状態です。最賃引き上げと雇用確保は青年にとって切実な課題です」と語ります。

日本の最低賃金はフルタイムの中間に比べて、その30%しかなく、OECD諸国と比べても最低です。さらに最低賃金以下の賃金しか受け取っていない労働者が全労働者の10%もあり、その実態は深刻です。

引き続き愛労連では、8月の最低賃金決定に向けてとりくみを強めることにしています。



早朝と昼休みに行われた宣伝行動



平和行進 共同ひろげて 岐阜へ引き継ぐ

5月31日から愛知県入りした平和行進は、6月11日までの12日間に、県下32コース、延べ350kmの行進に5798人が参加しました。

行進の行く先々での沿道では41万2750円の募金と「いま、核兵器の廃絶を」署名が3209筆が寄せられました。

国民平和行進実行委員会と市民平和行進実行委員会が「あいち平和行進」として名称とスローガンを統一したとりくみは4年目となり、県下の各コースでも共同が追求され、新たに小牧、豊明の両コースで新たな共同が実現しました。

こらむ

米国の上院委員会は9日、イラクの「大量破壊兵器脅威は誤りであった」という報告書を確認しました。英国でも同様な報告がブレア政権を窮地に追い込んでいます。日本でも小泉ウソつき政権が参院選で後退を喫しました。「年金改悪を強行した政党の候補者には絶対投票したくない」と中日新聞に載った建交労働組合員の声は全国に大きな共感をよんだようです。これで国会はどう変わるのでしょうか▼しかし、トヨタの選挙にはいままさらながら驚かされます。以前であれば「会社は自民、労組は民主」と分けていましたがが今回は労使そろって木俣氏を推薦。さらにはグループの余った票を他候補に回し、模擬投票まで行つたの良さ。民主主義が消費税引き上げに力を入れるのもトヨタの影響がはかり知れませんが▼選挙が終わるといよいよ憲法・教育基本法の改悪が持ち上がってきます。その地ならしが公務員制度「改革」。細田官房長官は国家公務員の給与について「個人の業績を評価して差を設けることが望ましい」と述べ、定期昇給制度廃止、実績主義導入という考えを示しました。国公法弾圧事件で政治的自由を奪い、さらには上に従う公務員つくりのための査定制度。8月の人事院勧告でこの方針を打ち出そうとしています。熱い夏が始まります。(K)



議案を拍手で採決する代議員

6月19日、労働会館において、愛労連女性協第15回定期総会が開催されました。3日前には悪法が次々と強行採決された通常国会が閉会したばかり。国民にさらなる痛みを押しつけるものでした。その怒りから、総会への出席も多く、発言も活発に行われました。

愛高教からは養護教諭部を新たに立ち上げたこと。自治労連の平和バスツアー。全印総連の東海共同印刷よりパート部会が11月から連絡会の準備に取り掛かっている様子。建交労は、憲法9条の鶴5千羽づくりを提案。全国一般は全国女性交流集会を愛知で開催するとりくみの報告。福保労の東海地方本部は、若い人が多く執行部も頑張っていることなど、粘り強く活動する報告がたくさんされま

女性の自立には非正規労働者の権利前進が大切 愛労連女性協が15回総会

しかし、社会のさまざまな分野で女性の自立が困難なままであることも事実です。女性労働者の過半数がパートや派遣労働に追いやりられている実態も今後のたたかいの重要な部分となっています。(女性協発)

【新役員紹介】
議長 柿内 公子 (自治労連)
副議長 伊藤 佳子 (愛知国公)
副議長 渡辺 育代 (全国一般)
事務局長 鷺津 康子 (愛高教)

うれしいよ 白血病治療順調 アッバース君 退院 治療順調に進めば9月にも帰国



退院を嬉しそうに待つアッバース君 (名大病院病室にて)

イラク南部の都市、バスラから来日し、名古屋市昭和区の名古屋大学付属病院で白血病の治療を続けていたアッバース・アリ・アルマルキー君(5才)が7月8日退院しました。アッバース君はイラクへの医療支援を続けている市民団体「セイブ・イラクチルドレン・名古屋」(代表は小野万

里子弁護士)の招きで今年1月に来日。これと同時にバスラとバグダッドから2人の医師も招かれ、名大病院で医療研修を続けています。アッバース君は、昨年5月に発症。湾岸戦争後の経済制裁と昨年のイラク戦争による戦禍で、医薬品不足は深刻化し、まともな治療

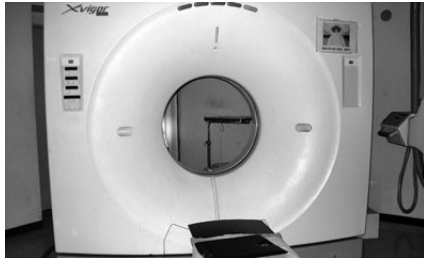
ができない状態でした。「来日前に、採血用の注射器を探して街中を走り回ったが、注射器1本手に入らなかった」とお母さんのアヌワールさんは言います。急性リンパ性白血病であるアッバース君は名大病院に入院後、とても辛い抗がん剤や放射線などによる集中治療を受け続け、来日した頃に比べると見えるほど元気に回復しました。退院後は、中区のマンションにお母さんと2人で移り住み、週1回の通院治療を続けます。経過が順調であれば9月にも帰国できることになりそうです。セイブ・イラクチルドレンでは、帰国後の治療のために1年半分の薬を準備することになっています。

イラクでは、これまでの経済制裁とイラク戦争の戦禍により、医薬品だけでなく医療機器も深刻な不足状態が続いています。こうした中、セイブ・イラクチルドレンに県下の開業医などをつくる愛知県保険医協会が協力し、中古医療機器をイラクの病院に届けるとりくみも始まっています。すでに、保険医協会内外の医院や病院などから多数の医療機器が寄せられており、なかにはCTスキャン

中古医療機器おくるプロジェクトも開始



寄贈された中古医療機器



CTスキャンも寄せられた

などの高価な大型機器も寄贈され、その量は大型コンテナ3個にもなるうとしています。セイブ・イラクチルドレンと保険医協会では、8月3日名古屋港発、8月30日クウェート港着でイラクのバスラに届けることにしており、輸送費のカンパを呼びかけています

アメリカの要求に 対応して

「一つの社会が墮落するとき、最初に腐敗するのが言語である」と言われています。軍隊を自衛隊と、戦車の特車と、戦争を「有事」と言い換え、「テロリスト」「国際貢献」などの曖昧な概念を使って本質から国民の目を遠ざけ欺きながら、憲法を空洞化させる政治が日本では続いてきました。

「子育てに第一義的な責任を有する」とし、国家が家庭教育に干渉したうえ、その責任を強調しています。男女共学の規定もなくしてしましました。昨今のジェンダーフリー攻撃と期を一にするものです。第10条の「教育は不当な支配に服することなく、国民全体に対し直接に責任を負って行われるべきものである」という部分についても、行政権力の教育現場への介入を阻もうとした現行法の意図を転換させ、「教育行政は不当な支配に服することなく」としています。

教育基本法改悪は、戦争する人づくりへの道！

愛知県高等学校教職員組合 執行委員長 高須和博



教育基本法から 教育勅語へ逆戻り

自民党は、憲法「改正」への前哨戦として教育基本法の「改正」を目論み、「改正」案を来年の通常国会に上程しようとしています。そのために安部幹事長が先頭に立ち、地方議会から「改正」促進の意見書を国にあげるとりくみを全国で展開し始

めました。教育基本法を変えようとする人たちの意図は、6月16日に与党の教育基本法改正協議会が発表した中間報告を読むと明瞭です。真理と平和を希求する人間の育成という戦後教育の原点を根本から覆し、「戦争する国・日本」の人づくりをめざし

り、個人の内心に関与することに抑制的な現在の教育基本法から教育勅語(ちよくこ)へと反転させるものとなっています。教育現場に国家が介入

学習の友 創刊50周年記念 憲法改悪NO 明るい日本と職場を 全国学習交流集会

主催 都道府県学習協・労働者教育協会 協賛 全労連

日時 2004年9月18日(土)13時~20日(月・祝)正午
会場 愛知県大山市「福祉会館」(全体会場)
参加費 2万5000円(2泊5食+参加費 オプショナル企画は実費)

■記念講演①
「憲法9条と労働者の権利を守り、日米安保を考える」
講師：森 英樹 氏(名古屋大学教授)
■記念講演②
「学んで働く生き方を一大衆的学習教育運動」
講師：中田 進 氏(関西勤労協講師)
分科会、オプショナル企画など、企画が盛りだくさん

連絡先 愛知学習協 TEL 052(883)6960 FAX 052(883)6959

おもな内容

シリーズ憲法改悪を考える④